

ノービスルールの変更～どのように審査されるのか～

モンテ・フィリップス

キャットトークアルマナック2012年8月号より

(2012年)5月と6月のボードミーティングにおいて、ノービスに関するいくつかのルールの変更が実施されることになった。ノービスの猫は、CFAには登録されておらず、他の異なる猫登録団体に登録されている猫である。ここではそれぞれのショールールの箇所を説明するのではなく、新しいルールがどのように実施されるのか、ということ議論したい。最初に、ノービスには2種類あるのだが、ひとつはCFAにおいてポイントとタイトルをめざすノービスと、もうひとつはCFAのショーはどんなものか試しに出陳してみるノービスだ。

話しを進めるにあたって、ここに2人のアビシニアンの出陳者であるアンとグロリアと、デボンレックスの出陳者であるボビーの合計3人がいる。彼らは成猫をオハイオ州コロンバスで11月の17～18日の週末に開催されるCFAワールドチャンピオンシップキャットショーに出陳したいのだが、しかしこれらの3頭の成猫はTICAにのみ登録された猫である。アンとボビーはCFAのタイトルを猫に取らせることに興味があるのだが、グロリアはそうではない。以下に示すエントリーと競技(審査)過程は、6月のボードミーティングで採択されたルールにしたがって行われる。

まず、うまくいけば3人の出陳者は9月10日の12:01(東部夏時間)以降にショーにエントリーできるだろう。そのエントリー時点で、3頭の猫はCFA登録番号を誰も持っていない、それでノービスとしてエントリーするのだが、アンとボビーはエントリークラークにCFAのタイトルを目指しているのだと伝える。エントリーの時にそのことを伝えてもいいし、エントリークラークが「ポイントを獲得してタイトルを目指すのかどうか」の質問を書き込んだ確認書を送ってよこしてからでもいいのだが、その後に必要な過程は同じだ。エントリークラークは猫の仮登録ナンバーをもらうために、認定血統書と15ドルの追加料金が、必要であることを通知する。アンについては4代の血統書、ボビーは3代の血統書、というのは血統書を用いたデボンレックスの登録に関するレジストレーションルールでは3代血統書で十分だからだ。2人は追加料金と血統書をエントリークラークに送る。エントリークラークは、すでに血統書と仮登録ナンバーの請求がされていない場合には、仮登録ナンバー申請を完了させ、CFAセントラルオフィスから仮登録ナンバーを受け取る。仮登録ナンバーはTRN-MMDDXXXの形式で、MMはショーの月、DDはショー初日の日、XXXはセントラルオフィスで入力される猫の続き番号だ。

ももとのエントリー(フォーム)には、3頭ともノービスのところをチェックしたにもかかわらず、エントリークラークはグロリアの猫だけをノービスとして配置する。アンとボビーの猫はショーではオープンとして配置され、TRN-1117001とTRN1117002の仮登録ナンバーが記載されている。ジャッジブックには、グロリアの猫はノービスと書かれていて、アンとボビーの猫はチャンピオンと書かれている。ショーカタログをもう一度見てみよう、グロリアの猫はノービス、これに対してアンとボビーの猫はオープンと表示されている。

ショーでの審査において、ジャッジはグロリアのアビに感銘を受けて、ほとんどのリングでブリードを取っただけでなく、いくつかのリングではファイナルに入った。アンのアビはチャンピオンとしていくつかファイナルに入り、83点のグランドポイントを得た、そしてすべてのリングで失格になることなく通過した。同じようにボビーの猫はすべてのリングで紫リボンをもらい、ファイナルで200グランドポイントを得た。アンとボビーはチャンピオン確認申請書に記入して15ドルと一緒に確認申請のためにマスタークラークのテーブルにおいてある封筒に提出した。

マスタークラークがアンオフィシャルカウントを算定する時には、アンとボビーの猫はチャンピオンシップキャット、チャンピオンのカウントに入れるが、グロリアの猫はどちらにも入らない。

ショーの終了時にマスタークラークはセントラルオフィスに返送する書類のなかに、血統書をステープル留めして申請料を伴った2通の仮ナンバー申請書を加える。マスタークラークはまた、申請書と血統書がはずれた時のために、仮ナンバーを血統書に記入しておく。

セントラルオフィスはショーパッケージを受け取ったときに、仮ナンバー登録申請のための血統書を確認する。もしも仮ナンバーを申請された猫の血統書が許可できないものであった場合、出陳者に対してCFAにその猫が登録できない旨、通知し、またショーで蓄積したポイントは決してその猫に付与されることはない。これに対して、登録に対して問題が特になければ、ショーで蓄積したポイントはその猫がCFAの恒久的なナン

バーを正式に得るまで保持される。

11月17～18日のショーのあと、12月17日より前まではアンとボビーは彼らの猫を仮登録ナンバーでもってCFAのショーに出陳することができる。しかしその日(12月17日)以降には、仮登録ナンバーは使えなくなり、恒久的な登録ナンバーを得ない限り、CFAのショーには出陳できない。恒久的な登録ナンバーを得るには、もうひとつしなければならないことがある。ボビーは追加の25ドルを支払う必要がある。セントラルオフィスは血統書をチェックし、先祖に2頭のブリティッシュショートヘアがいる他にはすべてデボンレックスであることを確認した。デボンレックスとの容認されるアウトクロスであるので、セントラルオフィスはボビーの猫に、デボンレックスの登録のプレフィックス(最初の4桁)と通し番号(たとえば 2904-1749382)のある最終的な登録ナンバーを交付する。彼女の猫はすでに200グランドポイントを得ていて、チャンピオン確認も申請されており、セントラルオフィスはグランドチャンピオン証書も交付する。

これに対してアンは最終的な登録のために25ドルを支払えばいいだけではない、彼女はアビシニアン登録に必要なさらなる4代前までの認定血統書を提出する必要がある。追加の血統書ですべての先祖猫が許容される場合には、恒久的な登録ナンバーが交付される。しかし、たとえば7代目の先祖にソマリがいた場合には、CFAには登録することができないし、獲得したポイントが猫に交付されることもない。

グロリアは彼女の猫が勝利したリボンやロゼット、キャットショーそのものから離れていたが、それだけではなかった。彼女の猫はクオリファイリングを通過した(失格にならなかった)ので、彼女は猫をCFA登録して恒久的な登録ナンバーを得ようと考えを改めた。また(その後)少なくともチャンピオンタイトルの請求ができるのだ。

もうひとつの選択肢として、グロリアがエントリーの確認書を受け取ってから11月17日の審査開始前までにアワードのために出陳してポイントを欲しいと考えたとする。ショー開始前までに彼女は4代の血統書と15ドルの支払いを行うことができる。ショーの受付担当はアブセント/トランスファーシートに、その猫がノービスからチャンピオンにトランスファーされたことを記入する。ショーパッケージに追加されるべき仮登録ナンバー申請書に記入し、血統書と申請料金がマスタークラークに受理されることによって、マスタークラークカタログではオープンにトランスファーされ、セントラルオフィスから仮登録ナンバーが発行される。

これらの猫たちを含む全体の処理プロセスを説明すると…。つまりは、リステッドキャットには2つのタイプがあること(CFA登録ナンバーは持たないが他団体に登録されていることが要件)、CFAの仮登録ナンバーを持つ猫と持たない猫だ。仮登録ナンバーのある猫はオープンとして通常のクラスに出陳され、チャンピオンあるいはプレミアとして審査されるが、仮登録ナンバーを持たない猫はノービスとして出陳される。この方法で出陳する猫には「何回のショーに出陳できるか」という制限はない。ただ、「仮登録ナンバーで出陳したショーから30日」の制限があるのみである。

(訳:新本洋士)